

特集

団体登録を行って、センターを有効活用しよう!

市民活動支援センターに登録すると、活動室や団体用メールボックスなどを利用することができます。また、市民活動支援センターのホームページや広報紙などで情報提供ができます。

登録を希望する団体の方は、登録申請書に必要な資料を添付し、市民活動支援センターの受付に提出してください。

登録の要件

- ◆ 主として市内で市民活動を継続的に行っていること
- ◆ 構成員が2人以上で、市内在住・在勤・在学または市内で活動していること
- ◆ 宗教・政治活動や特定の者の利益のための活動を目的としないこと など

越谷ツインシティ
Bシティ5階

市民活動支援センターは
こんなところ

詳しくは市民活動支援センター
(☎969-2750) へお問い合わせください。

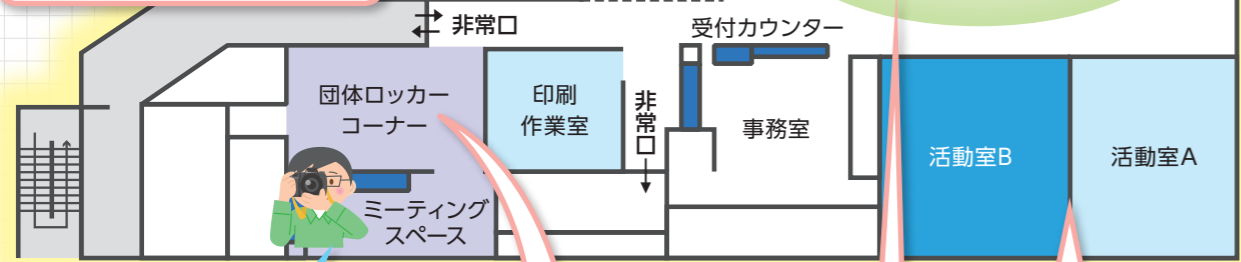
観光・物産情報コーナー

市の観光・物産に関する情報発信のほか、観光DVDの貸し出しやレンタサイクルの受け付けを行っています。
カウンター横の展示ケースには、特産品やこしがやブランド認定品などが展示されています。一部の商品は越谷駅東口高架下の越谷市物産展示場で販売しています。



プレイルーム

就学前のお子さんと保護者が利用できるスペースです。
*お子さんの預かりはできません



コミュニケーションボード
市民活動に関するさまざまな情報を掲示しています。

メールボックス、団体ロッカー

団体向けに、有料でメールボックスとロッカーの貸し出しを行っています。
*利用には団体登録が必要です

多目的スペース

市民活動に関する情報交換や打ち合わせなどに使用できます。
また、登録団体に関する情報を調べたり、市民活動や地域の情報などを見たりすることができます。



活動室

会議や研修、講座、イベントなどを行うことができます。
通常は活動室Aと活動室Bに分かれていますが、つなげて使用することもできます。
*利用には団体登録が必要です

活動室の使用料

区分	午前	午後	夜間	全日
時間	9:00~12:00	13:00~17:00	18:00~21:30	9:00~21:30
活動室A	800円	1,000円	900円	2,700円
活動室B	800円	1,000円	900円	2,700円

隠れた名所!?

ミーティングスペースの窓際は絶好の撮影スポット
市民活動支援センターは越谷駅のすぐそばにあり、駅を通過する電車を撮影するのに最適です。鉄道写真が好きな方にはたまらない場所かもしれません。



特集 協働のまちづくりの拠点

市民活動支援センター「ななサポこしがや」に行ってみよう

市民活動支援センターの支援内容と愛称「ななサポこしがや」

市民活動支援センターは、

- ・ 活動の拠点
- ・ 交流の場
- ・ 市民活動の相談
- ・ 学習の支援
- ・ 情報収集と提供
- ・ 文化の向上
- ・ 観光・物産情報の提供

の7つの支援を行っています。

平成27年には、センターの愛称を公募し、7つの支援(=サポート)を表す「ななサポこしがや」に決まりました。



4年前の平成24年6月、越谷駅東口の越谷ツインシティBに、越谷市市民活動支援センターがオープンしました。市民活動支援センターは、誰もが気軽に立ち寄り交流や情報交換することができる市民活動の拠点施設として、これまで多くの市民や団体に親しまれてきました。

今号では、来年6月に開設5周年を迎える市民活動支援センターの施設や支援の内容についてご紹介します。

「越谷を住みよいまし」という思いを支援する

市は、平成21年に越谷市自治基本条例を制定しました。この条例では、市民が市や市議会と対等な立場で連携・協力して公共分野での課題解決に取り組む、協働のまちづくりを自治の基本原則としています。

市民活動支援センターは、協働のまちづくりを実現するための拠点として、団体の活動に対する各種支援のほか、各団体の

協力によるイベントの開催、市民と団体をつなぐ機会の確保など、さまざまな取り組みを行っています。

市民活動支援センターには現在約140団体が登録されており、各団体がここを中心に市内各所で活動しています。団体の活動目的は、子育て、福祉、文化、他の団体の支援などそれぞれ異なりますが、いずれの団体も「越谷をもっと住みよいましにしたい」という思いが活動の基となっています。

特集

市民活動支援センターの
一大イベント!

センターまつり

市民活動支援センターで年に一度に行われる最大のイベント、「センターまつり」。毎年9月に開催されています。今年9月11日に行われた「第5回センターまつり」では、市民活動支援センターをはじめ、越谷駅東口ロータリー、越谷ツインシティAシティの一部を会場に、84団体が参加し、4,000人を超える来場者でにぎわいました。



協働のおまつり
学生ボランティアが活躍!

センターまつりは、参加団体のほか、市民ボランティアにもご協力いただき、開催しています。今年は市外の高中生・大学生もボランティアとして活躍。受付やステージ進行の補助などを行ってくれました。



広報紙「ななサポ」と「かけはし」

市民活動支援センターでは、2つの広報紙を発行しています。年に3回発行している機関紙「ななサポ」では、市内の市民活動団体の紹介などを、毎月1日発行の「かけはし」は講座のお知らせなどを掲載しています。広報紙は、主にセンターの職員が制作していますが、ボランティアで市民編集員も制作に参加しています。

市の市民活動を知りたい方、講座の情報を知りたい方は、「ななサポ」「かけはし」をチェックしてみてください!

*広報紙は市内公共施設で配布しています(詳しくは市民活動支援センター ☎969-2750へ)。市民活動支援センターホームページ (<http://koshigaya-activity-support.info/>)にも掲載しています

「ななサポ」の創刊号から写真撮影を担当しています。センターの職員さんと市民活動団体の活動の場に同行し、取材をする中で、さまざまな団体の活動を知り、私自身も勉強をさせていただいています。これからもよりすてきな広報紙になるよう、お手伝いしていきたいと思っています。



市民編集員・福嶋 靖さん
(センター登録団体「越谷ビデオクラブ」会員)

開設から4年半がたち、おかげさまで当センターは市民の皆さんが集まる場所として定着し、催しも多くの方に参加していただけるようになりました。また、それぞれの催しは各団体の協力によって企画・運営されており、駅前という好立地を生かしながら、市民や団体との協働がうまく根づいてきていると実感しています。

当センターでは団体同士の交流を図る催しも開催しています。これをきっかけに、情報や運営のノウハウを共有したり、団体がそれぞれの長所を生かして協力したりするなど、市民活動の広がりも見られます。

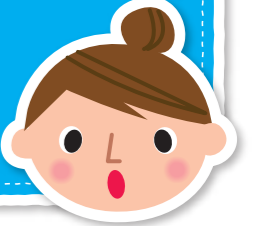
今後は、これまで以上に市民活動に関する情報や人を集め、市民・団体・企業・行政などのつながりを支援する拠点としてさらに充実させていきたいと考えています。そのほか、地域の「コミュニティ団体との連携など、新たな取り組みについても模索していければと思います。



市民活動支援センター
鈴木 宏孝所長

市民活動支援センター「ななサポこしがや」に行ってみよう

市民活動支援センターって どんなことを しているの?



市民活動支援センターでは、どんなことをしているのでしょうか。「市民活動団体向けの施設」と思う方もいるかもしれませんが、市民活動団体はもちろん、催しや講座など個人で参加するメニューも豊富に用意しています。市民活動団体の方も一般の方もセンターに足を運んでみませんか。

ふれあおう 楽しもう

定期的に行っている講座

★かふえとも

人との交流や情報の交換ができる「おしゃべりサロン」です。子育てや介護など毎回テーマを決めて交流を図っています。



ふうたごえ広場

昔懐かしい叙情歌や童謡を参加者全員で歌います。市内在住の60歳以上の方が対象の事業です。声を出して、心も体もいきいき!



子育てママ・パパの
ふれあいの場

ぽっぽひろば

親子のコミュニケーションや親同士の交流・情報交換ができる場です。絵本の読み聞かせや親子の遊び場の提供を行っています。



おじゃましました!

懐かしい紙芝居や手遊びをしていたので、子どもだけでなく私も一緒に楽しんでいます。スタッフの皆さんもとても親切で、いろいろな世代の方と交流できるよい機会になっていると思います。



田京 安紀子さん
准太ちゃん

4階の中央図書室で子ども向けのスペースを案内してもらったことがきっかけで、ぽっぽひろばにも参加するようになりました。絵本の読み聞かせを経験するうち、子どもが話を集中して聞けるようになった感じがします。子育てはいろいろと心配ごともありますが、ここで相談して安心できることも多いです。

井上 麻里さん
那奈ちゃん

さまざまな講座を開催、相談も受け付けています

市民活動団体向けに、税理士など専門家による会計や労務相談などを定期的に行っています。そのほか、動画やチラシの作成講座なども随時開催し、市民活動を支援しています。また、一般の方向けにもイベント、講座を随時開催しています。



11月5日、市民活動支援センターの活動室A・Bで行われた、越谷サンシティ落語研究会(越谷市演芸協会)による「第5回社会人落語名人会」。約2時間30分、満員の会場では笑いが絶えませんでした

●参加者の声●

越谷サンシティ落語研究会さんが開催する落語会には、いつも来ています。会員さんの話芸、しぐさがすばらしく、楽しませてもらっています。今回、市民活動支援センターが会場でしたが、越谷駅から近くて便利です。こちらで楽しい催しがあればまた来たいです。



齋藤 芳子さん・澤木 八重子さん

特集

市民活動をしている方、市民活動に興味のある方は 市民活動支援センターへ



市民の知恵袋ネットワークでは、市民活動の経験豊富なコンシェルジュが話をお聞きます

こしがや市民活動連合会は、市民活動団体の連携、活動の向上・発展のために平成27年に組織されました。主に市内で活動している45団体が加盟しています。団体間で事業の協力、市民活動支援センターに事業や利用に関して提言・協力などを行っています。また、毎年行われている「協働フェスタ」(今年度は29年1月28日)に開催予定は、市と共催で実施しており、協働のまちづくりに寄与しています。さらに、市民活動に関する情報提供、相談を受け付ける「市民の知恵袋ネット



こしがや市民活動連合会
会長 松原 千廣さん

市民と団体、団体と団体、行政と団体 つなげることで、越谷をすてきなまちに

トワーク(※)という事業を行っています。

市民活動という難しく感じるかもしれませんが、何か始めてみたい！など少しでも思ったら、市民活動支援センターへお越しください。こしがや市民活動連合会は、あなた(団体)の活動をサポートします。

※月曜・水曜・金曜日の午前10時～午後4時に市民活動支援センターでコンシェルジュ(案内人)がお待ちしています。団体からの相談も受け付けています

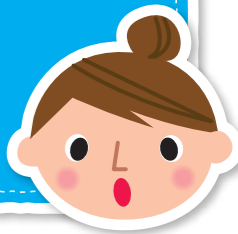
「手と手をつなぐ情報ガイド」
人材バンク

市民活動に関する豊かな知識や経験等を社会に役立てたい、と思つている方と、それを必要としている方とをつなげる人材バンクの情報冊子を発行しています。詳しくは市民活動支援センター ☎969-2750へ。



市民活動支援センター「ななサポこしがや」に行ってみよう

市民活動支援センターを利用している 市民活動団体に を聞いてみました



センターの
いいところや
活動の様子

市民活動支援センターに利用登録している団体数は約140団体(平成28年11月現在)。多くの団体がセンターを利用しています。センターをよく利用している2団体に、活動内容やセンターについて、お話を伺いました。

駅前にあり、人が集まりやすい



多文化こども学習塾
代表 小川 満さん

外国人の子どもの学習や 進学を支援する

多文化こども学習塾では、毎月第1・3土曜日に市内の外国人の子どもを対象とした勉強会を開催しています。きっかけは、私が高校教師だった平成15年に参加した、外国人のための高校進学ガイダンスでした。ここで外国人の学習や進学の継続的な支援の必要性を感じ、18年に塾を設立しました。現在は元教員や海外勤務経験者など15人ほどがボランティアスタッフとして活動しています。

塾には小学生から高校生まで幅広い年代の子どもたちが学びにやってきました。国も、中国やフィリピン、ベトナムなどさまざままで、スタッフが少人数制で丁寧に対応しています。

駅前という利点を生かして

塾の設立後数年は中央市民会館で活動していましたが、市民活動支援センターが開設し、こ

ちらに拠点を移しました。ここは駅前であり、広い地域から人が集まりやすいのが何よりの利点です。子どもたちもあちこちから通って来ますので、駅から近いことで安心できます。

ほかにも、高校進学ガイダンスや多文化をテーマとしたイベントなどでセンターを利用させてもらっています。

活動の幅を広げるために

現在も越谷市の外国人市民の数は増え続けています。教育を受ける権利は誰にでもあり、外国人の教育も保障されなくてはならないと思います。今後は、大学生など若い方にもスタッフとして参加してもらい、活動の幅を広げていけるようにしたいですね。



スタッフの説明を、みんな熱心に聞いています

活動室や多目的スペースが広い



こしがや地域ネットワーク13
代表 崎崎 美佐子さん

男女共同参画と 生涯学習を推進

こしがや地域ネットワーク13は、市教育委員会主催の「こしがや女性大学」の修了生の有志が平成11年に結成しました。男女共同参画社会の推進と生涯学習をテーマに、38人のメンバーが活動しています。

活動内容は、男女共同参画の分野では、越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」と女性の自立支援やDV防止などの講座や催しを協力して実施しています。また、生涯学習の分野では、越谷を知るために自主学習会を行い、そこで得た知識を地域に還元するため、一般の方向けの講座も開催しています。また、越谷を多くの方に知ってもらうために「越谷いろはかるた」や「まちめぐりすごろく」などを作成し、児童館や市内の催しなどで披露もしています。このほか、まちを活性化するため、さまざまな活動を行っています。

センターは多彩な活動を 支援する存在

私たちが活動を行う際、「ほっと越谷」や地区センター、市民活動支援センターなどを利用しては、市民活動支援センターは、活動室や多目的スペースが広く、利用しやすいですね。講座の会場や打ち合わせなどで使用しています。

越谷はすてきなまち 多くの方に知ってもらいたい

越谷市に住んでいないけれど、市のことはよく知らないという声を聞きます。市にはすばらしい伝統的工芸品や観光スポットなどがあり、見どころの多いまちです。市内外の多くの方にそれを知ってもらいたいですね。これからも積極的に活動を続けていきたいと思っています。



越谷ひな人形をモチーフにした顔出しパネルの制作の様子

市民活動支援センター「ななサポこしがや」のご案内



〈所在地〉弥生町16-1 越谷ツインシティBシティ4階、5階
東武スカイツリーライン越谷駅下車東口徒歩1分

市民活動支援センター(5階)

☎969-2750

〈開所時間〉午前9時～午後9時30分

*12月29日～31日、1月1日～3日は休所

観光・物産情報コーナー(5階)

☎969-1819

〈開所時間〉午前9時～午後9時30分

*12月29日～31日、1月1日～3日は休所



4階の中央図書室もご利用ください

自動貸出機を設置しており、貸出し可能な図書と雑誌をご自身で借りることができます。2カ月ごとにテーマを変えて蔵書をご案内する「企画展示」や、4歳～小学生を対象に読み聞かせなどを行う各種「おはなし会」を開催しています。

〈開室時間〉午前9時30分～午後9時30分

*12月28日は午後5時まで。12月29日～31日、1月1日～4日は休室

(室内整理、蔵書点検など別途休室があります)

問 中央図書室 ☎969-1800